

令和6年10月 吉野町教育委員会定例会議 会議録

日時 令和6年10月24日(木) 午後2時～ 場所 町中央公民館4F 教育長室
出席者：吉野町教育委員会 教育長 教育長職務代理者 委員3名 事務局4名

1. 開会挨拶
2. 新規教育委員紹介
3. 審議案件

- 議第1号 吉野町教育委員会教育長職務代理者の選任について…【資料1】
議第2号 第5次吉野町総合計画後期基本計画策定に伴う策定審議会委員の選出について…【資料2】
議第3号 吉野町立学校の管理運営に関する規則の一部を改正することについて…【資料3】
議第4号 吉野町感謝状贈呈者の推薦について…【資料4】

質疑応答・異議なく、全会一致で承認。

4. 報告案件

- 報第1号 こども議会について（11月11日）…【資料5】
報第2号 教育総務課事業説明について

質疑応答・異議なし

- 報第3号 生涯学習課事業説明について

委員：スマホ依存というものがよくわからない。例えばゲーム依存というものはイメージとしてよくわかるが、もう一つの依存としてSNSのネットワークでグループLINEがあり、そこで即レスを要求されるからと言って、常時チェックをしているといった子どもたちがいるという事象を見たことがある。そのようなタイプの子どものオフラインキャンプに参加していたのか。

事務局：そのようなタイプの児童・生徒が含まれているか否かは確認していない。

LINEでコミュニケーションすることに集中する、総じてリアルな楽しさと、バーチャルなつき合い方、これがバランスよく自分の中で消化されて使いこなしていくという能力を身につける。今までの制限・禁止から、GIGAスクール構想含め更なる活用へ移行しつつある反面、子どもたちにとって貴重な時間が動画や

ゲーム等にあてがわれている割合が大きく、今回の鮎掴みや芋掘りといったリアルな楽しさも大いに体験しておかなければ、バランスのとれた社会人となれないという危惧も有る。但し一つ課題があって、保護者の世代が既にネット依存であること。幼児よりエンドレスでネット動画を見せ続けるというアルゴリズムに乗っており、その是非は家庭教育の中で保護者の方々にも見直しや再認識して頂きたいと思う。

教育長：LINE や SNS 関係の、中に入ってしまっても抜けられない、コミュニケーションや友人関係の中でのトラブルといった類のものは、恐らく違う次元のところでの解決が必要かと思われるが、それ以前にネット視聴やゲームをプレイしていないと落ち着かない、寝食を惜しんでゲームをするといったことは結構多い。幼少期から既にネットが身近にあった環境下で、インスタグラムや TikTok といったアプリでは、凄く刺激的な画像や面白い動画が絶えず流れ続けている。リアルの体験を通じて違うもの、現実であることに気付かせるという活動であったと思う。

LINE や SNS 関係については、また少々違った種類の対策対応があると思う。現状ラインは根深く拡散しているが、既に LINE から遠ざかっている子どももいるようだ。

何れも依然として我々の連絡用ツールとして LINE は非常に重要な役割を果たしているため、正しい使い方を学んで頂ければ、という様な話であった。

その他質疑応答・異議なし。

5. その他事項：11/30 開催 第 22 回おはなしカーニバル（川上村）案内

次回の日程調整 11 月 28 日(木) 午後 2 時～ 町中央公民館 4 F 教育長室

6. 閉会挨拶